

新潟大学 令和5年度 U-goグラント
Niigata University Interdisciplinary Research U-go Grant
公募要領

新潟大学 研究統括機構

1. 趣旨

研究統括機構では、学問分野の境界を超えた連携・融合による研究を推進し、自然科学から人文社会科学にわたる幅広い分野の基礎・応用研究力をより強化するとともに、将来的な外部資金獲得の基盤を形成することを目的とした研究助成「U-go グラン트」を実施します。

本グラントは、「新潟大学ビジョン2030」(*1)の研究ビジョンに対応するもので、主に独創的研究や次世代を担う基礎研究を育むための環境整備の一環として位置付けられています。R5年度は、引き続き「一般枠」および「トライアル枠」、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」(*2)と連携した「次世代枠」の公募を実施し、創造的研究の発掘・創出をさらに推進します。

*1 「新潟大学将来ビジョン2030」：<https://www.niigata-u.ac.jp/university/about/vision/vision2030/>

*2 「未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト」：
<https://www.phd.niigata-u.ac.jp/student/fellowship/zisedaipj/>

2. 対象とする研究課題

本グラントでは、異なる学問分野間の連携・融合研究を進めることで、新たな知見の発見や複数の分野間にまたがる社会的課題の解決、新たな研究領域の開拓等を目指すものを支援します。これを共通項として、以下の3枠での公募を行います。

① 一般枠（従来どおり）

- これまで実施してきた内容を発展的に展開するもの、まだチームとしての研究実績はなく萌芽段階のものなどいずれも対象とします。
- 本グラントによる支援期間終了後3年以内（令和8年度内）に、当該課題又は関連テーマでの外部資金申請を必須要件とします。
- 以上の要件を満たしつつ、「新潟大学将来ビジョン2030」のうち、研究ビジョン【目標2-1】【目標2-2】に沿った研究課題も歓迎します。
- 令和4年度U-goグラント採択課題と同テーマ（もしくは発展したテーマ）での継続応募も認めますが、継続応募は1回まで（U-goグラントによる支援は最長2年まで）とします。

② トライアル枠

- 自由な発想に基づく“研究の芽”に関して、調査、探索、試行実験等を行う取組を対象とします。研究期間内に、その取組を発展させることができか否かを検証してください。
- 本グラントによる支援期間終了後3年以内（令和8年度内）に、当該課題又は関連テーマで外部資金に申請することは必須要件ではありませんが、積極的な検討を推奨します。

③ 次世代枠

- 「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に採択された博士後期課程学生が、マルチラボシステム（学内短期留学制度）により実施する異分野連携・融合研究を対象とします。

[対象課題の例]

- ・ 異分野の研究者とのチーム形成が必要な事業への申請を目指す研究プロジェクト
- ・ 研究者等の自由な発想や対話に基づく萌芽的分野や、潜在的に連携が可能な分野を活性化する研究プロジェクト
- ・ 部局間連携など新たな連携・融合を図るこれまでの枠組みを越えた研究プロジェクト
- ・ 社会的課題解決のための多面的・横断的なアプローチによる研究プロジェクト など

3. 研究チームの要件

枠	応募区分	研究分野	研究代表者	研究分担者
①一般枠	新規または継続		新潟大学の常勤研究者(*3) ※新規応募については、過去3年度(R2~4年度)採択課題の研究代表者を除く ※特に、若手研究者や女性研究者の研究代表者としての応募を奨励(*4)	本学の常勤研究者1名以上を含んでいること。他研究機関、企業等からの参画も可。
②トライアル枠	新規	2つ以上の学問分野を含んでいること。 ※詳しくは、以下の【留意事項】参照	次世代事業に採択された、新潟大学の博士後期課程学生 ※マルチラボ実施済み、実施中、実施予定いずれも可	1) 代表者の指導教員【必須】 2) 留学先の指導教員【必須】 3) 留学先の学生【推奨】 4) その他の教員・学生、学外研究者・学生、企業等【任意】 ※学生は、博士、修士、学部生いずれも可
③次世代枠	新規			

[留意事項]

- ・ 研究分野に関して、異なる学部・学系等の研究者間の連携・融合を原則とします。具体的には、次のような連携・融合を推奨します。（推奨順位順）
 - 1位：異なる学系・学部・分野間での連携
例）文理融合、医工連携、脳研-教育学部連携 など
 - 2位：同じ学系の異なる学部・分野間での連携
例）理工連携、医歯連携 など
- ・ 研究分担者として、他研究機関、企業等からの参画も可としますが、学内研究助成制度という性格から、仮に審査において、同レベルの評価の課題を比較する場合、以下の条件にあてはまる研究チームに配慮する可能性がありますこと、ご留意願います。
 - 学外研究者より学内研究者が多い研究チーム
 - 研究代表者が学内の異分野研究者と連携した研究チーム
- ・ 「新潟大学における研究倫理教育の実施に関する要項」第4(1) 受講対象者「イ受講義務者」は、申請時までに、「研究倫理に関するe-Learning研修等を受講済みであることを要件とします（*5）。

*3 ①一般枠および②トライアル枠の研究代表者は、「新潟大学における科学研究費助成事業等の応募資格に関する取扱いについて」（平成28年8月8日学長裁定）の2に規定する者とする。<https://www.niigata-u.ac.jp/staff/science/research-funds/cost-requirement/>

*4 若手研究者は、ここでは、令和5年4月1日現在で45歳以下の研究者とする。本学では、経営戦略本部ダイバーシティ推進センターを中心に、全学的にダイバーシティを推進しています。<https://diversity.nu.niigata-u.ac.jp/>

*5 新潟大学における研究倫理教育の実施に関する要項：

<https://www.niigata-u.ac.jp/wp-content/uploads/2022/12/eresearch-youkou.pdf>

4. 助成期間

支援研究費配分後（令和5年8月上旬を予定）、令和6年3月31日まで

5. 支援研究費・採択予定期数

枠	応募区分	支援研究費/課題	採択予定期数
①一般枠	新規	最大100万円	7件程度（内、女性研究代表者カテゴリー2件程度）
	継続	最大50万円	2件程度
②トライアル枠	新規	最大50万円	3件程度
③次世代枠	新規	最大50万円	10件程度

[留意事項]

- 新規課題に応募する際、①一般枠、②トライアル枠、③次世代枠のいずれかを選択し、各様式を使用してください。
- ①一般枠・新規課題において、本学の女性研究者が研究代表者として応募する課題について、優先的に採択する仕組みを設けていますが、応募に際し女性研究者代表者カテゴリーであることを指定する必要はありません。

[使用ルール]

- 支援対象経費：設備備品費（50万円未満）、消耗品費、旅費、謝金・賃金、その他（資料送付代、学会参加費、等）
- 経費の執行の翌年度への繰越しは、不可とする。
- 新潟大学会計規程等を順守し、適正に使用する。

6. 公募スケジュール

公募期間：令和5年5月10日（水）～6月30日（金）17:00

審査期間：令和5年7月（予定）

結果通知：令和5年8月上旬（予定）

助成開始：令和5年8月上旬（予定）

7. 応募方法

所定の申請書（①一般枠用、②トライアル枠用、③次世代枠用のいずれか）と研究概要をわかりやすく示した概念図（A4・1枚、縦横自由）を、メールで提出してください。

ファイル名	○申請書:「U-go 申請書_研究代表者名」 ○概念図:「U-go 概念図_研究代表者名」 ※いずれも PDF 形式で
提出先	研究企画推進部 研究推進課 研究資金係 Email: kenkyo2@adm.niigata-u.ac.jp ※メールの件名は「U-go 応募(研究代表者名)」としてください。
提出期限	令和5年6月30日(金)17:00

8. 審査について

研究課題の審査は、研究統括機構 研究推進企画会議構成員等により構成される U-go グランツ審査委員会において、以下の観点から行われます。なお、審査の観点のうち 1) 「異分野連

携・融合研究」としての妥当性については、重み付けを行います。

[審査の観点]

1) 「異分野連携・融合研究」としての妥当性

全枠共通

- 異なる学問分野間の連携・融合研究を進めるものであるか。

2) 研究の挑戦性・先進性、波及効果と将来性

①一般枠

- 新たな知見の発見や複数の分野間にまたがる社会的課題の解決、新たな研究領域の開拓等を目指す、挑戦性・独創性の高い取り組みであるか。
- 本研究課題の遂行によって、将来的により広い学術、科学技術、産業、文化など、幅広い意味で社会に与えるインパクト・貢献の可能性が期待できるか。

②トライアル枠

- 独自の視点や斬新なアイデアに基づく、挑戦性・独創性の高い取り組みであるか。
- 将来的に、本格的な研究活動に発展する可能性が期待できるか。

③次世代枠

- 申請者自身の専門研究を活かした挑戦的・融合的取り組みであるか。
- マルチラボの実施により、未来社会の変革を生み出す新規のイノベーション創出が期待できるか。

3) 研究目的及び研究計画の妥当性、研究遂行能力の適切性

①一般枠、②トライアル枠

- 研究目的是明確であり、その研究目的を達成するため、研究計画は適切であるか。
- 現在受けている研究費や研究業績等から見て、研究計画に対する高い遂行能力を有していると判断できるか。

③次世代枠

- 研究目的是明確であり、その研究目的を達成するため、研究計画は適切であるか。
- 【マルチラボ実施前】留学先研究室との準備状況は適切であるか。【マルチラボ実施済み・実施中】適切に計画を実施しているか。

4) 【一般枠のみ】外部資金獲得の可能性

- 今までに獲得した研究費や研究業績等および、本研究の挑戦性、波及効果などからみて、外部資金獲得の可能性が高いと判断できるか。

5) 【一般枠・継続応募のみ】継続支援の妥当性

- 研究が当初計画通り順調に推進され、その研究成果が今回の研究計画に十分に生かされているか。
- 今回応募された研究を推進することによって、格段の研究発展が見込まれるものであるか。

[考慮する点]

- 若手研究者や女性研究者が研究代表者である課題、および若手研究者の育成に資するものか
- 「新潟大学将来ビジョン 2030」等、本学の方針に沿ったものか
- 【一般枠・継続応募のみ】令和4年度 U-go グラント研究成果報告書

[その他]

- ・ 仮に、同等の評価の課題があった場合、若手研究者や女性研究者が研究代表者である課題の採択を優先する。
- ・ 女性研究代表者カテゴリーに該当する応募がなかった場合および、要件に該当するが採択基準に満たなかった場合には、優先的な採択を行わない。

9. 採択後の留意事項

- ・ 採択課題については、URA のホームページ等にて「所属部局名」・「研究代表者氏名」・「研究課題名」を公表します。
- ・ 採択後、円滑に研究費が執行されるよう、応募書類を、研究代表者および研究分担者が所属する部局事務担当者と共有します。
- ・ R6 年 4 月に、U-go グラント報告書の様式を送付しますので、5 月末までに提出願います。
- ・ 研究統括機構が実施するイベント等への協力を依頼することがあります。
- ・ 学会発表や論文発表等において、本グラントの支援を受けた旨を表記願います。

例) 和文：本研究は、令和〇年度新潟大学 U-go グラントの助成を受けたものです。

英文：This research was supported by Niigata University Interdisciplinary Research U-go Grant, 20XX.

10. マッチング支援の実施

U-go グラント応募にあたり、異分野の研究者との連携を希望する場合は、URAが研究構想に沿って、異分野の研究者を紹介（マッチング支援）いたします。なお、URAはU-go グラントの審査にも関与することから、申請内容への支援は行いません。また、「次世代枠」応募予定者のマッチング支援については、PhDリサーチサポート室と連携して実施します。

11. URAとの情報共有・外部資金申請

採択課題を外部資金獲得に発展させるため、助成期間のみならず終了後も適宜 URA と採択者間で進捗状況等を情報共有し、公募情報の提供や申請支援を実施します。

12. 本グラントに関するお問合せ

本グラントに関しご不明な点やご質問等ございましたら、以下までご連絡ください。
(なるべくメールでお問合せ願います。)

U-go グラント全般に関する こと	研究企画推進部 研究推進課 研究資金係（担当：吉田） Email: kenkyo2@adm.niigata-u.ac.jp Tel: 025-262-5642
「次世代研究者挑戦的研究 プログラム」に関するこ と	次世代研究者挑戦的研究プログラム事務局（学務部 教務課 大学院支援係）（担当：森本、池井） Email : nu-jisedai@gs.niigata-u.ac.jp Tel : 025-262-6110

以上